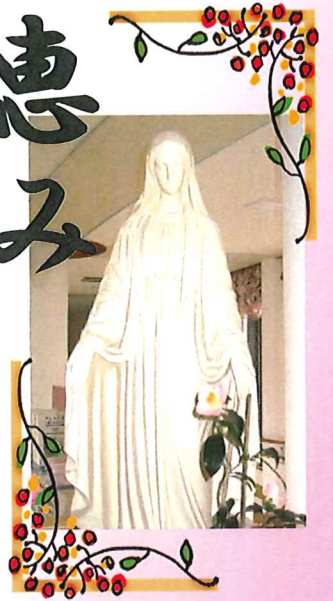


恵み



第 35 号
令和 6 年 5 月 1 日
発行 聖マリアの園
〒853—0052
五島市松山町 706—3
(0959)72—6129

特別養護老人ホーム聖マリアの園 施設長 村上順子

令和 6 年の始まりに当たり、今年には新年早々に大きな地震・津波・飛行機事故等々の災害があり心を痛めた方も、多くいたことと思いません。災害はいつやってくるのか、私たち人間の力では計り知れませんが、予想もしない時にやってくると思います。普段からの用意を怠らないように常に気を付けたいと思う気持ちでいっぱいである。

所で、桜開花の宣言通り今、山桜が見ごろを迎え山間は桜の競演とでも言いましょうか、いたるところの山々は山桜が見ごろを迎え、季節の移り変わりが目でも肌でも感じる季節になりました。時間の経過とともに山々は、いつの間にか初夏を迎えて若葉が映えるようになりました。気象台の発表によると向こう三カ月の予報だと気温の上昇が十年に一度と言われるほどに高気温が、続くよう高齢者をはじめ、幼児に至るまで熱中症には気を付けてほしいとの呼びかけがラジオをから流れているのを聞いて、また今年も異常気象が続くのだなど、正直少々不安な気持ちになった。今年はお正月早々災害等が続き、南海トラフの予兆が起きているのではないかとの懸念も示されているようです。日頃からの備えを怠らず今できることを、出来るだけ精一杯していきたいものです。

こんな気持ちで令和六年度を迎えましたが、いつの間にか、もう新

年度を迎えてから一カ月が経過してしまつた。時が過ぎるのは早いもので、世の中は連休で行楽季節になり、人々は海外へと小旅行に出かける人々で、各空港はごった返しのようだ。連休を満喫して旅行に出かけた方が、無事に帰られるようお祈りしたいと思う。

又、高齢者施設においては、今年度は介護報酬改定の年で事務担当者はそれに見合った書類作りが大変なようで、パソコンとにらみ合っている日々が続いていて、取りこぼしが無いように真剣である。と書いたところで、一日一日がいつの間にか経過してしまい、とうとう一か月遅れの配信となつた。

五月に入り新緑もいつの間にか若葉に変身してしまつた。燕が軒下に巣作りを始めている。雛が飛び立つ日を待ちつつ毎日の生活に少しでも変化を求めながら利用者の皆様が、自分らしく生きられるように、支援をして参りたいものである。

新年度の始まりにあたり、お互い(利用者様お一人お一人と職員)のコミュニケーションを上手く取りながら、事業の展開を進めたいと願う日々である。

